

# 令和7年度 企業部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
<p>株式会社 北洋銀行 (本社:札幌市)</p>	<p align="center"><b>【ほっくーネイチャーポジティブ基金(旧名称:ほっくー基金)】</b></p> <p>当行のサステナビリティに関するマテリアリティの一つである「北海道のネイチャーポジティブへの貢献」に資する取組みとして、北海道の生物多様性増進に取り組む様々な団体を助成金により幅広く支援。</p> <p>選定先は、特別天然記念物・絶滅危惧種の生息環境保護、繁殖環境の整備や特定外来生物の駆除、魚道整備や植樹に加え、幅広い世代に生物多様性に関する教育を実施する団体に助成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長年にわたり、道内の希少種保護や生息環境整備等に取り組む様々な団体の活動の助けとなったものとして評価できる。</li> <li>○これまでの生物多様性保全に加え、ネイチャーポジティブにも対象を拡大したことは、受賞の良いタイミングとなる。</li> <li>○基金というしっかりとした基盤の構築方法も含め、創造性豊かな活動であり、各主体と連携した良い取組である。</li> </ul>

活動の様子



R7年度助成  
 特定非営利活動法人 人まち育てI&I  
 活動名称: エコツアーで湿地を保全! ~ツアーガイド育成とプログラムづくり (※縄用のスゲの刈取り)



R6年度助成  
 特定非営利活動法人 共育フォーラム  
 活動名称: 森のいきものクラブ

表彰式等



## 令和7年度 一般部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
新篠津ツルコケモモを守る会	<p style="text-align: center;"><b>【石狩川右岸域の残存湿地の保全活動】</b></p> <p>新篠津村で、平成27年秋に発見された石狩大湿原の名残である残存湿原は、同村では消滅したとされていたツルコケモモ等が生き残る貴重な環境である。同湿原は民有地のため行政による速やかな保護が期待できず、座視すべきではないという意識のもと結成。この湿原のほか、新篠津村と石狩川右岸域市町の残存湿地の実態を把握し、市民に広くその価値を発信し、保全への機運醸成を目指している。</p>	<p>○湿地の保全に関して、理解を促進するための着実な取組は評価できる。</p> <p>○今後の活動として、会員同士で活動の活性化や、地元の新篠津村役場との連携等に期待したい。</p> <p>○篠路福移湿原への土砂搬入によるカラカネイトンボの消滅危機・釧路湿原における開発等、保全に危機的な湿原がある社会情勢を鑑みると、注目に値する活動である。</p>

活動の様子



表彰式等



## 令和7年度 一般部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
たきかわ環境 フォーラム	<p align="center"><b>【野生動物と共存する地域のチカラを育む活動】</b></p> <p>「フォーラム」(原義は「集会する広場」)の名の通り、地元の自然環境や地理・歴史、また大震災や原発過酷事故、ブラックアウトといった時事問題をテーマに、20年にわたって「エコカフェ」「エコフェスタ」と銘打つ市民集会を主催してきました。人口減にともない野生動物とのあつれきが激化する中、近年は「野生動物と共存する地域のチカラを育むプロジェクト」に取り組んでいます。</p>	<p>○各種取組結果の情報提供等、単純な参加の呼びかけに止まらず、成果が広く一般に還元される活動であることは評価できる。</p> <p>○エコカフェ・エコフェスタは一般も巻き込んだ取組の他、安定した滝川市との連携も見込めることは評価できる。</p> <p>○「野生動物との共存」をテーマとした種々の活動や、高校と連携した取組は環境教育という点にも繋がっており、創造性があるプロジェクトである。</p>



活動の様子



表彰式等

